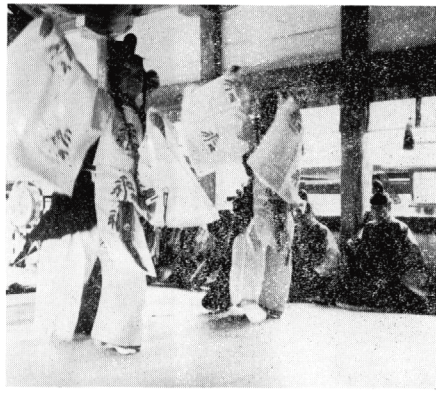


春季大祭 齋行

皇室の弥栄と五穀豊穡を願い



宗像大社春季大祭は、三月三十一日より四月二日までの三日間に亘り、齋行された。期間中は曇りがちで雨が心配されたが、祭典並びに神賑行事は滞りなく執り行われた。

三月三十一日、大祭に先立ち午後五時総社地主祭、引続き午後六時宵宮祭を齋行し、明日よりの大祭の無事を祈念した。

四月一日午前十一時より、総社祭並びに交通安全講社祭が齋行され、氏子崇敬を始め、一般参列者多数参列のもと盛大に行われた。

春祭りの神賑行事

奉納剣道大会

四月一日、午前九時より宗像大社春季大祭奉納剣道大会が催された。

宗像大社では四月一、二日の両日春季大祭が齋行されるが、その神賑行事として毎年開かれている。

早朝より会場の本殿横境内に、小学生を中心に約四百名の参加選手が詰めかけた。



野試合の為、例年天候が心配されるが、肌寒さは感じられたものの雨は降らず関係者を安堵させた。

試合は団体戦で行われ、豆剣士の熱戦には観衆から盛んな拍手が送られ、数々の熱戦を繰りひろげながら午後二時すぎに終了した。

成績は次の通り

優勝 玄海少年剣道

優 小學校一、二年の部

準優勝 卍少年剣道教室

第三位 赤間西剣道教室

優 小學生三、四年の部

優 勝 河東少年剣道教室

準優勝 東郷少年剣道教室

第三位 玄海少年剣道

優 小學校五、六年の部

優 勝 玄海少年剣道

準優勝 日の里東剣道教室

第三位 東郷少年剣道教室

優 小學校一、二年の部

優 勝 玄海少年剣道

春季大祭恒例の奉納吟詠大会が、北九州に本部がある鶴洲吟詠会の皆様方により、四月一日午前十時より清明殿にて盛大に催された。

当日は、肌寒い曇天にもかかわらず、会員の方々の清らかな声の響きで、清明殿が満員の盛況であった。

先づ、拝殿にて献吟式が行われ、お祝いの後、鶴洲吟詠会宗家、河野鶴洲先生に合せ、会員揃って、「宗像宮」を御前に奉納、最後は宗家に合せ玉串拝礼を行って献吟式を終えた。その後四時終了した。

王子神社春祭

去る四月三日、宗像大社の境外摂社である、王子神社春祭が齋行された。

王子神社は宗像市丸の許斐山(標高二七〇米)の頂上に鎮座されている。池野の孔大寺神社や大島の御嶽神社などとならび、山頂神社として内外の崇敬厚き人々の信仰を集めている。

毎年、この日、当社神職が出向いて祭典を奉仕して参列した。

この日も参列者一同は好天に恵まれたのを感謝しつつ、峻しい山道を山頂を目指した。

下山後地元丸の公民館に於て兩祭典に参列した関係者合同で直会が催され、和やかな楽しい一時を過ごした。

去る四月三日、宗像大社の境外摂社である、王子神社春祭が齋行された。

王子神社は宗像市丸の許斐山(標高二七〇米)の頂上に鎮座されている。池野の孔大寺神社や大島の御嶽神社などとならび、山頂神社として内外の崇敬厚き人々の信仰を集めている。

毎年、この日、当社神職が出向いて祭典を奉仕して参列した。

この日も参列者一同は好天に恵まれたのを感謝しつつ、峻しい山道を山頂を目指した。

下山後地元丸の公民館に於て兩祭典に参列した関係者合同で直会が催され、和やかな楽しい一時を過ごした。

沖津宮現地大祭

〔祭典案内〕

来る五月二十七日、筑前沖ノ島鎮座宗像大社沖津宮において日本海海戦を記念し、恒例の国家鎮護現地大祭を齋行致しますので、参拝希望の方は御連絡下さい。

一、参拝日程

1 五月二十六日 火曜日

午後六時までに沖津宮(筑前大島)に到着し届ける事。受付後宵宮祭に参列する事。

2 五月二十七日 水曜日

午前六時大島出発。午前九時沖ノ島到着、直ちに海にて。午前十時祭典。午後一時沖ノ島出発。同日大島到着、解散。

3 渡海船(大島)神湊間

大島発午後四時二十分、同六時。

4 当日荒天等のため渡島不可能の場合は、大島の沖津宮通所に於て祭典を齋行致します。

一、要項

1 参拝者は沖津宮奉賛会費として一名八千円をお納め願います。

2 五月二十六日は大島にて齋泊。宿泊所、食事(弁当)は各自で御手配下さい。

3 乗船者数に制限がありますので、参拝希望の方々の内より当社で厳選の上決定致します。

4 年令七十才以上の方の渡島は関係筋の通達により、お断り致します。

尚、長時間の乗船に堪えられない方や健康状態が良好でない方は、御遠慮願います。

参拝申込書、心得、要項等を用意しておりますので、返信用切手同封の上左記宛御申込み下さい。

一、申込先

宗像郡玄海町田島

宗像大社事務所 儀式課

電話 〇九四〇一六一三二一四

〇八一三三五

三十六歌仙扁額

楽松子

特大の絵馬や小絵馬を合せ、長政参拝の時見つけた、神職の絵馬が境内に創設された。建設当時の姿のままでも使用されている社寺も多いようである。宗像大社でも現在絵馬堂が境内の一角にある。

天明三年(一七八三)に、板絵による大型の境内配置図が鷹取敬華・亀井南雲の併書により描かれている。これは中世の宗像宮の境内推定図である。神社はそれより以前の弘治三年(一五五七)大火災により境内の全てが焼失しているが、当時の模様が伝承され、記録されたものと、古来から用いられていた様子が知られてきた。これは古代から引き継がれてきた宗像信仰の内には、一般の人々が願いを込めた、絵馬を間にして行なわれ、一つの信仰様式は育ってこなかったこととも考えられる。

福岡藩主黒田光之の三十六歌仙扁額の奉獻に関する記録を見ると、他の絵馬の側と異なり、古式にのっとり、神社では左が上位であるが、これは常にお殿から見ると、延宝八年(一六八〇)九月の条に、田島社に歌仙一具寄進。絵は狩野仙が選ばれたままの順序で法眼永興筆、歌は持院基時師の筆とあり、此れは今内陣に治まり、拝殿には貞享三年(一六八六)衣笠半助が画を、大野市太夫が歌を書いた歌仙を掲げるとある。一方、田嶋の社には、昔時大宮司狩野古法眼画、の「お札」そのものは、のちに神馬と云われ神獸とされるが、古代に於いては、豊穡や往來の豊稔と安全の願いを込め、神威を向うとともに、神の使いの意味を持つて、実際に生き馬を供奉することから始まった行ないと思われる。

ここに絵馬の歴史を簡単に述べよう。時代が下ると馬も形代として奉獻される。沖ノ島祭では七世紀末頃の祭祀から滑石製馬形が人形・舟形と伴って各地の祭祀遺跡からも土製・木製・金属製の馬形が奉獻品として多く出土している。我が国は律令時代であった奈良・平安時代には、祭りも多様化しているが、奉獻品に関する基本はそのまま踏襲されてきている。奉獻品も形式類と一絡に、井戸状遺構や河川・池沼と水が湧く所では、水盤信仰・折雨祭祀に際して板木に墨書による小絵馬が出土している。これが、特記されるのは、やはり奈良・平安時代の溝状遺跡である。静岡伊場遺跡出土の小絵馬が奈良県田原町の絵馬が著名であるが、同様なことは、京都市大觀遺跡(長岡京城北側)からの墨書人面土器や奈良県原京址の板絵に描き水盥に供えたことと云える。

この時代が絵馬の発生期であろう。後に神社に奉納される大形の模写白馬の馬と馬形とは異なる。絵馬と馬形とは同一の思いが、その根底には同一の思いがあつたためであらう。それは庶民の生活そのものである。

採取者表彰者名

山口一松(大島漁協)

福崎利雄(福崎漁協)

浦島美正(福崎漁協)

七田和男(福崎漁協)

高橋理三(神湊漁協)

梶本幸夫(大島漁協)

児島久幸(地ノ島漁協)

田中勇司(福崎漁協)

花田正武(津屋崎漁協)

松井仙市(福崎漁協)

特大的絵馬や小絵馬を合せ、長政参拝の時見つけた、神職の絵馬が境内に創設された。建設当時の姿のままでも使用されている社寺も多いようである。宗像大社でも現在絵馬堂が境内の一角にある。

天明三年(一七八三)に、板絵による大型の境内配置図が鷹取敬華・亀井南雲の併書により描かれている。これは中世の宗像宮の境内推定図である。神社はそれより以前の弘治三年(一五五七)大火災により境内の全てが焼失しているが、当時の模様が伝承され、記録されたものと、古来から用いられていた様子が知られてきた。これは古代から引き継がれてきた宗像信仰の内には、一般の人々が願いを込めた、絵馬を間にして行なわれ、一つの信仰様式は育ってこなかったこととも考えられる。

福岡藩主黒田光之の三十六歌仙扁額の奉獻に関する記録を見ると、他の絵馬の側と異なり、古式にのっとり、神社では左が上位であるが、これは常にお殿から見ると、延宝八年(一六八〇)九月の条に、田島社に歌仙一具寄進。絵は狩野仙が選ばれたままの順序で法眼永興筆、歌は持院基時師の筆とあり、此れは今内陣に治まり、拝殿には貞享三年(一六八六)衣笠半助が画を、大野市太夫が歌を書いた歌仙を掲げるとある。一方、田嶋の社には、昔時大宮司狩野古法眼画、の「お札」そのものは、のちに神馬と云われ神獸とされるが、古代に於いては、豊穡や往來の豊稔と安全の願いを込め、神威を向うとともに、神の使いの意味を持つて、実際に生き馬を供奉することから始まった行ないと思われる。

ここに絵馬の歴史を簡単に述べよう。時代が下ると馬も形代として奉獻される。沖ノ島祭では七世紀末頃の祭祀から滑石製馬形が人形・舟形と伴って各地の祭祀遺跡からも土製・木製・金属製の馬形が奉獻品として多く出土している。我が国は律令時代であった奈良・平安時代には、祭りも多様化しているが、奉獻品に関する基本はそのまま踏襲されてきている。奉獻品も形式類と一絡に、井戸状遺構や河川・池沼と水が湧く所では、水盤信仰・折雨祭祀に際して板木に墨書による小絵馬が出土している。これが、特記されるのは、やはり奈良・平安時代の溝状遺跡である。静岡伊場遺跡出土の小絵馬が奈良県田原町の絵馬が著名であるが、同様なことは、京都市大觀遺跡(長岡京城北側)からの墨書人面土器や奈良県原京址の板絵に描き水盥に供えたことと云える。

この時代が絵馬の発生期であろう。後に神社に奉納される大形の模写白馬の馬と馬形とは異なる。絵馬と馬形とは同一の思いが、その根底には同一の思いがあつたためであらう。それは庶民の生活そのものである。

玄海東幼稚園が開園



宗像郡玄海町の町立池野幼稚園と神幼幼稚園を統合した、「玄海東幼稚園」の開園が、玄海町上八の玄海東小学校東側に完成し、今年度より池野・神野地区の幼児が、ひろびろとした回廊で元気に学び、遊んでいる。

「玄海東幼稚園」の開園については、一昨年、池野幼稚園の園舎老朽化による、建直しの問題がおきたのを機会に、玄海町では神・池野両幼稚園を統合し、新幼稚園の開設を計画した。ところが、地元父母から、通園が不便になり、交通災害に遇う危険も強いなどの意見が出て、統合に對する不満の声が上がった。そこで町側は、地域懇談会

玄海小学校

子供達からの便り

宗像大社は地元の玄海小学校へ毎年催かではあるが、子供達の夢を育てる目的で、図書を寄贈している。これは当社が行っている福祉教化事業の一環でもある。

この度図書寄贈のお礼として、子供達の手作りの作文集が、小学校より寄せられたので、ここにその一部を掲載し、皆様方にもお読みいただきたく思います。

二年 高橋めぐみ

わたしは、先生からお話しを聞いてわかったけれど、むなしかったいしから本を買ってもらって読んでみたら、ぜんぜんしりませんでした。

それから図書かんの本は、うめいじんの木やえらいの木やおもしろい木がた



くさん、あるからすきです。だから、ほかのこに毎

わたしは、今年二年代から、むなしかったいしからいただいた本は、読めないけど四年生か、五年生か、六年生になったら読みたいと思います。

それから、わたしが一番たのびた本は、シートの本です。お話をただでよ

の、くらしぶりがかかれていたからです。

わたしは、そんな本がすきです。これからは、いろいろな本を、たくさん読んでみたいと思います。いろいろな本を、たくさん読んでみたいと思います。

住民の念願がかない

「南郷会館」オープン

宗像市南郷校区の住民達の集い・研修施設である、同会館は、同市野坂の南郷小学校と南郷運動公園とを結ぶ「南郷会館」がこの程に完成し、四月から地域住民の使用を交付している。

同会館は、同市野坂の南郷小学校と南郷運動公園とを結ぶ「南郷会館」がこの程に完成し、四月から地域住民の使用を交付している。

同会館は、同市野坂の南郷小学校と南郷運動公園とを結ぶ「南郷会館」がこの程に完成し、四月から地域住民の使用を交付している。

宗像大社責任役員会

「昭和六十二年予算を審議」

三月九日午前十一時より儀式殿会議室に於て、当社責任役員会が開会された。

当日は三月中旬とは思えぬ様な肌寒で、桜花のツボみもまだ堅かたが、ツボみは熱のこもった眞議答で真剣に新年度の予算が練られた。

定刻に全責任役員(委員長、並宮司、権宮司、関係職員が席につき、宇都宮権宮司の開会宣言により開始された。

三月一日 月次祭
三月二日 孔大寺神社祭
三月三日 宇都宮権宮司・山田権佐官神道團際友好会中国視察旅行参加(七日まで)
三月七日 社宗像青年会議所LD道場開催(八日まで)

社務日誌抄

三月一日 月次祭
三月二日 孔大寺神社祭
三月三日 宇都宮権宮司・山田権佐官神道團際友好会中国視察旅行参加(七日まで)
三月七日 社宗像青年会議所LD道場開催(八日まで)

三月九日 新出光石油欄新入社員七十六名参拝・入社奉告祭参行
京都府松尾大社司宮中 西守氏外十二名参拝
宗像警察署警備隊長八田征勝氏・主任小田守氏赴任挨拶の爲本社
三月十一日 宗像法外二名委員宮崎清文氏外二名参拝
宗像警察署外勤課長重松和美氏赴任挨拶の爲本社
三月十三日 陸上自衛隊飯塚駐屯地宇野隊長以下三十六名参拝

三月十五日 月次祭
三月十六日 京都府松尾大社権宮司佐古一河氏外十三名参拝
社宗像青年會議所組織運営特別委員長小宮山聖氏参拝
三月十七日 米スクワ大学留学生一行来社
三月十九日 松尾神社祭
宗像大社責任役員会議
二月二十日 宗像大社女子会評議員会
出光興産贈東京支店・東京光連会十八社十六名参拝
宗像大社奉納盆裁会役員会
三月二十一日 皇靈殿遷拜式
三月二十二日 池野校区両消防ポンプ入魂式
岡垣町村田良之氏體奉納
三月二十三日 NHK福岡報道番組ディレクター中野氏来社
三月二十四日 責任役員旅行(二十六日まで)宗像祇園同行
元FM福岡アナウンサー今村けい子女士来社
三月二十五日 田中健福岡別荘事務所参拝
武水別荘神社林宮松田氏外總代十二名参拝
三月二十六日 文化庁記念物伊藤藤子調査官・興教育庁文化視察官小路・磯村両技官来社
鹿児島市川畑敏子女士・川島學園長川島昭人氏外二名参拝
海上保安庁総務部長野尻豊氏・第七警区海上保安部次長上野源三郎氏外四名参拝
三月二十八日 奈良県大神神社總代谷口氏外四名参拝
山口県吉尾八幡宮宮司宮崎正隆氏参拝
養父宮司就任披露祝賀会
三月三十日 地元總代並協力会春奉大祭準備奉仕
三月三十一日 春季大祭總社地主祭・宵宮祭

三十六歌仙



宗像大社神宝館3階
5月31日～6月30日まで

特別展開催
「三十六歌仙絵馬展」
宗像大社が所蔵している三十六歌仙絵馬の、特別展を行います。
当大社には四百年前の天正年間から、江戸時代中葉の安永八年(一七七九)までの約二〇〇年間に、五組(合計一八〇枚)の三十六歌仙絵馬が奉納されています。

今回の特別展は天正年間から供えられた狩野永徳工房製作の絵馬を中心として、各時代の歌仙絵馬を組み合せ、六十枚を展示します。
期間 五月十三日から六月三十日まで
場所 神宝館三階

宗像大社神宝館3階
5月31日～6月30日まで

宗像大杜歌会 俳句作品集(二五)

福岡中央 力丸玄風 控え目に触るれば確と芽の

田熊 安部 ゆき 芽 田熊 二宮 末子 釈迦如来寝たる姿や四王山

池田 小田しめ の 笹鳴きに耕す鋏は動かさる

藤沢 井上 玄洋 春光に輝く海の淡みどり

津屋崎 西住喜三郎 床の間をあますす飾り初難

福岡 広渡一寿軒 風花や春の名残りの別れ雪

津屋崎 井浦 良介 菓立つ子よはるかな雲の充

名古屋 野崎 傳三 尾瀬の水ぬるみて勢ふ清流

鐘崎 岩瀬 辰夫 一坪園アネモネの花春一番



(続)

浜の寄物

海漂器と山陰海岸へ

春休み二泊三日で、久し線て岡山へ、岡山から津山 鳥取砂丘には一四時半こ



取駅に着いた。線て津山に、岡山から津山 鳥取砂丘には一四時半こ

まつりと生活(五) 神社について

全国に神社は約八万あるといわれています。その全

によれば、崇神天皇の御代に大和の笠置に磯城の神

の山陰海岸では、どこでも漂着していた。

河口から少し下った、バスが停っていたので、そ

どがわ)河口までの約一〇キロを歩いた。

小田から中砂子付近には消波ブロックが積み重ねら

る。満潮時には歩くのは難儀するが、丁度、引き潮で

よかつた天気も次第に曇りはじめ、気温も下が

派村から倉吉へ。そこから急行に乗り出雲へ。出雲

中華人民共和国製、プラスタック浮子も多く見

の中にも三つ(伝里ヒラ)と折っていた。名

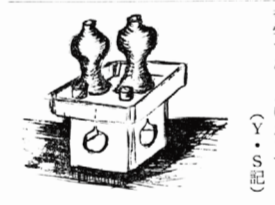
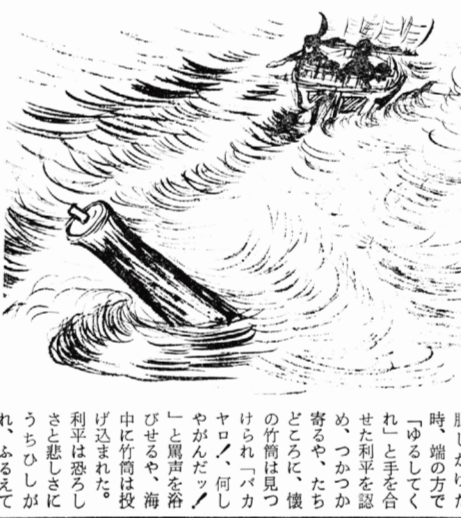
男が利平とい。博多の外村の村から出

宗像むかし話

孝心の水

時は江戸時代、寛永年間、是万病にまよと云う。母の

で種やかな海が、大荒れに荒れ、船は木の葉のように



うのは、社殿の破損という建築上の問題もあり、二

利平は、何からどう云うか、折つていた。どのくら